



2学期の合言葉は「KKY」！～校長先生 2学期始業式 講話より～

2学期を迎えました。新型コロナウイルスの感染が拡大しています。とても大変な状況です。海部地区、弥富市も例外ではありません。とても心配な状況ですが、こうして2学期を始められることをうれしく思います。皆さんは、どんな夏休みになりましたか？校長先生は、生徒の皆さんにとって安全で楽しい夏休みになることを祈っていました。

健康であることはあたりまえではありません。健康な体で産み育ててくれた家族に感謝することと、健康を維持する努力を怠らないように生徒の皆さんには意識を高くもってほしいと思います。新型コロナウイルスに感染しないよう、できる限りの感染対策を実行し続けることが大切です。自分自身のことを大切にすることも大切ですが、相手を大切にすることも大切です。たとえ自分が元気でも「もしかしたら知らず知らずのうちに新型コロナウイルスに感染しているかもしれない」と考え、「他の人を感染させないように考え行動すること」がとても大切だと思います。中学生として、自覚をもった行動を心がけましょう。

さて、校長先生が期待する、2学期の「A」は、「変わる」「超える」「やり遂げる」です。「KKY」と覚えてください。

中学校での様々な体験や経験は、大人になってからも大きな財産となります。入社試験や入学試験などでは、面接の際、「これまでの経験の中で、何かに挑戦して自分が変わったことはありますか」、「これまで、困難な出来事を乗り越えたり、やり遂げたりしたことはありますか」など、「自分の成長に関する質問」などを聞かれることがよくあります。それは高校受験（受検）での面接でも同様ですね。

「自分を成長させるチャンス」が2学期にはたくさんあると思います。体育祭や文化祭などの学校行事、修学旅行や広島研修などの学習機会。キャリア教育の一環としての「高校の体験入学」やSDGSに関する総合的な学習なども「自分を変えるチャンス」になるかもしれません。

「それらのチャンスをどう生かし、自分をどう変えていくのか」積極的にチャレンジしてください。

3年生の皆さんは、自分の将来を見据え「自分の夢」と向き合ってください。そして、最高学年として1・2年生を育ててほしいと思います。2年生の皆さんは、最高学年になる準備の時期です。3年生の後ろ姿から多くのことを学んでください。1年生の皆さんは、いよいよ「本当の中学生」になる時です。自分を大きく成長させ、「自分を変える」2学期にしてほしいと思います。

皆さんが成長すれば、弥富北中学校も大きく変わります。皆さんがどのように成長するか。今からとても楽しみにしています。「KKY」を合言葉に、努力していきましょう。

常に意識しておけば無意識で動けます ～鷲野先生 防災講話より～

いつ起きるか分からない地震への対応。その初期対応として「身を守る行動（シェイクアウト）」を意識しましょう。「Shake Out(地震を振り払え)」という言葉通り、危険を察知したらすぐに行動することが大切です。まずは「ドロップ！」姿勢を低くし、周りの状況確認を。次に「カバー！」落下物から身を守りましょう。特に頭部を守って。最後に「ホールド！」揺れがおさまるまで待ちましょう。「常に意識していれば無意識で動ける」ようになります。スポーツと同じです。地震発生時は「あせらず急ぐ」ことも大切です。中学生は「助けられる側から助ける側へ」の役割も求められます。緊急時に何を優先し行動していくか。常に意識しておくことが大切です。「備えあれば憂いなし」危険を察知し行動する力を、日頃から磨いておきましょう。